

1 治安情勢

警察による治安対策が一定の成果を挙げているものの、スリ、ひったくり等の軽犯罪は依然として多数発生している。また、リビア等近隣国における法執行機能の不全等を背景として、島嶼部を含むイタリア南部に、多数の移民が短期間で押し寄せ、特別在留許可を得た者を含む多数のアフリカ系移民が都市部に引き続き流入している。

2 日本人被害例

スリや置き引きの被害件数については前四半期とほぼ同程度の発生であり、ひったくりに至っては増加している。細部の被害状況については、以下のとおり。

(1) スリ 36件（7月～9月：37件）

ア マルペンサ空港の搭乗ゲート前のベンチにて休憩中、何者かに貴重品を盗まれたと思われる。

イ ローマ市内の路上にて、4名の見知らぬ女に囲まれ、動揺している隙に貴重品を盗まれたと思われる。

ウ ミラノからペルージャに向かうバスの車内にて、混雑して身動きが取れない中、何者かに貴重品を盗まれたと思われる。

(2) 置き引き 5件（7月～9月：9件）

ア ローマ市内の飲食店にて、椅子にカバンをかけて食事をしていたところ、何者かにこれを盗まれていた。

イ ミラノからジェノヴァに向かう電車の車内にて、棚に置いていたカバンを何者かに盗まれていた。

(3) ひったくり 7件（7月～9月：2件）

ア ローマ市内にて団体で観光バスに乗車した直後、見知らぬ者が車内に侵入し、複数のパスポートが入った袋を奪って逃走した。

イ ローマ市内にて、2人組の男に「背中が汚れている」と声を掛けられた。拭き終えた後、男に握手を求められたが拒んだところ、急に手を引っ張られカバンを奪い取られた。

(4) 車上荒らし 1件（7月～9月：2件）

ア ローマ市内の駐車場にて、駐車していた車の窓ガラスを割られ、車内に置いていたカバンを盗まれた。

3 殺人・強盗等凶悪犯罪例

外国人が被害者となった事件が発生したものの、日本人の被害については認められなかった。事件の概要については、以下のとおり。

(1) 殺人

11月18日

フィレンツェ市内において、コソボ人の男性が通りで刺殺された。被害者はチュニジア人の男性とパブで口論となり、通りに出た後、激情したチュニジア人男性に刃物で刺されたものと思われる。

(2) 強盗

11月7日

ナポリ市内において、2人のオランダ人観光客が、棒で武装した3人のイタリア人に襲われ現金を奪われた。被害者は加害者達の乗る車のナンバープレートを撮影し、警察に通報した。警察は撮影された情報を基に3人のイタリア人を特定し逮捕した。

4 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

6 対日感情の変化

特になし。

7 日本企業の安全に関する諸問題

特になし。